

新型コロナ・インフルエンザワクチン定期予防接種のご案内

令和7年度の新型コロナワクチン、インフルエンザの定期接種についてのご案内です。
主に秋から冬にかけて感染し、特に年末年始頃に感染のピークが見られます。
接種を希望する方は、期間内に計画的な接種をお願いします。

対象となる方

静岡市に住民票がある、次の①または②に該当する方
①接種日に満65歳以上の方
②接種日に満60歳以上65歳未満の方で、基礎疾患（※）のある方
※心臓、じん臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

対象ではない方、定期接種期間外での接種は、任意接種(全額自己負担)となります。

定期接種の概要

新型コロナワクチン		インフルエンザワクチン	
接種期間	令和7年10月1日(水)～ 令和8年3月31日(火)	接種期間	令和7年10月1日(水)～ 令和8年1月31日(土)
接種回数	期間内に1回	接種回数	期間内に1回
自己負担額	下記以外の方 11,780円	自己負担額	1,650円
	60歳以上で基礎疾患(※)のある方 3,250円		

定期接種対象者のうち、次のいずれかに該当する方は、必要書類を医療機関に提示していただくことで、接種費用が無料になります。

生活保護受給世帯の方

そのことを証明できるもの

市民税非課税世帯の方 (世帯員全員が非課税)

次のいずれかのもの

- ▶ 介護保険料納入通知書
- ▶ 介護保険料特別徴収開始通知書
(令和7年度の保険料区分が第1～3段階であることがわかるもの)
- ▶ 世帯で一番収入が多い方の令和7年度課税証明書

中国残留邦人支援法による支援給付を受給している世帯の方

本人確認証

接種当日の持ち物

- 身分証明書（健康保険証、マイナンバーカード等）
- 予防接種の記録（お持ちの方のみ）
- 身体障がい者手帳〔基礎疾患（※）の対象となる方でお持ちの方のみ〕

▼ワクチン接種について詳しくは裏面をご覧ください▼

お問い合わせ

静岡市保健所 感染症対策課

静岡市葵区城東町24番1号 保健所棟2階

電話 054-249-3152(平日午前8時30分～午後5時)

実施医療機関

静岡市と契約している医療機関で接種できます。

- 医療機関によって接種期間は異なりますので、ご注意ください。
- 事前に接種予約が必要な場合がありますので、実施医療機関に直接お問い合わせください。
- 実施医療機関の一覧は、市ホームページ(HP)に掲載しています。また、各区役所総合案内、長田支所、蒲原支所で配布しています。

▼市HPは
こちらから



キーワードで検索

静岡市 定期予防接種 実施医療機関



他の予防接種との接種間隔

他の予防接種との接種間隔に、制限はありません。

ただし、疾患のある方や不安がある方は、事前に医師と十分に相談してください。

接種後の副反応について

接種後、すぐに現れる可能性がある症状

アナフィラキシー

薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。

血管迷走神経反射

ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ち眩みがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。横になって休むことで自然に回復していきます。

接種後、数日以内に現れる症状

インフルエンザワクチン接種における副反応には、接種した場所(局所)の赤み(発赤)、はれ(腫脹)、痛み(疼痛)等が10～20%の割合で起こるほか、発熱、頭痛、寒気(悪寒)、だるさ(倦怠感)が5～10%の割合で起こりますが、いずれも通常2～3日で消失します。

新型コロナワクチン接種における一般的な副反応は次のとおりです。

発現割合	一般的な症状
50%以上	注射部位疼痛、頭痛、疲労、筋肉痛 など
10～50%	腫脹、発赤、紅斑、下痢、関節痛、リンパ節症、発熱、悪寒 など
10%以下	嘔吐、痒痛 など

※接種するワクチンの種類(メーカー)によって症状や発現割合は異なります。

感染予防対策

マスクの着用、石けんでの手洗いや換気などは、基本的な感染対策として引き続き有効です。感染予防は個人の判断に委ねられますが、特に流行期においては、ひとりひとりの予防対策が重要です。

厚生労働省ホームページ

キーワードで検索

厚労省 感染症情報



▶読み取りは
こちらから

